

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110111011	未来へつなぐアウトリーチ Outreach activity for the future			スキル・リテラシー・教養科目	1	選択	1前期
科目の概要							
<p>アウトリーチとは、支援が必要なヒトやコトに対して積極的に働きかけ、支援していくことを意味します。愛知学泉大学では自発的な意志に基づき社会に貢献するボランティア活動全般を「アウトリーチ」活動としています。</p> <p>本科目では、大学の近隣地域を対象とし、ボランティア（アウトリーチ）活動に積極的に参加していきます。</p> <p>活動を通して、DP4「社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付け」るのうち、とくに四大精神と社会人基礎力を、さらにDP6「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる」能力の基礎を涵養していきます。</p>							
学修内容				到達目標			
① ボランティア（アウトリーチ）活動の意義を知る。 ② ボランティア（アウトリーチ）活動の中で四大精神を实践する。 ③ ボランティア（アウトリーチ）活動の中で社会人基礎力を発揮する。 ④ ボランティア（アウトリーチ）活動を通して地域に貢献する。				① ボランティア（アウトリーチ）活動の意義が理解できる。 ② ボランティア（アウトリーチ）活動の中で四大精神を实践できる。 ③ ボランティア（アウトリーチ）活動の中で社会人基礎力を発揮できる。 ④ ボランティア（アウトリーチ）活動を通して地域貢献ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ボランティア（アウトリーチ）活動の意義を理解し、みずから進んで活動に参加することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自身が従事するボランティア（アウトリーチ）プログラムの目的・目標を理解し、その達成に向けて粘り強く活動を持続することができる。					
考え抜く力	課題発見力	自身が従事するボランティア（アウトリーチ）プログラムの目的・目標をより高いレベルで達成するための課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	自身が従事するボランティア（アウトリーチ）プログラムの目的・目標をより高いレベルで達成するための方策を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	一緒にボランティア（アウトリーチ）活動に取り組むメンバー、支援対象の方々と良好なコミュニケーションをとるために積極的に発言ができる。					
	傾聴力	一緒にボランティア（アウトリーチ）活動に取り組むメンバー、支援対象の方々の意見・気持ちを丁寧に聞き取り、理解することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	ボランティア（アウトリーチ）活動に参加するにあたって、活動団体の定めたルールに従った行動ができる。事前の計画書・事後の報告書を期日までに提出できる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
他科目との関連、資格との関連							
1年前期「潜在能力の開発」で理解した徳性：四大精神、行動：社会人基礎力の実践の機会となる。							
学修上の助言				受講生とのルール			
ボランティア（アウトリーチ）は地域に貢献するだけでなく、自己の成長にもつながることを理解して積極的に活動に取り組んでほしい。				自身が従事するボランティア（アウトリーチ）プログラムを主催する団体の方針に従うこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
					④				
		レポート		0	①				
					②				
					③				
					④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓			
					②	✓			
					③	✓			
					④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓					
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>本科目はボランティア（アウトリーチ）活動という性格上、成績評価はおこなわない。 1単位（45時間）以上の時間、大学で認めたボランティア（アウトリーチ）活動に従事することにより「単位認定」をおこなう。</p>	<p>本科目はボランティア（アウトリーチ）活動という性格上、成績評価はおこなわない。 1単位（45時間）以上の時間、大学で認めたボランティア（アウトリーチ）活動に従事することにより「単位認定」をおこなう。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・科目の概要…ボランティア（アウトリーチ）とはなにか ・ボランティア（アウトリーチ）活動への参加の方法	オンデマンド配信	ボランティア（アウトリーチ）の意義が理解できる。 本科目でのボランティア（アウトリーチ）活動への参加の方法が理解できる。	予習：シラバスを読んでおく 復習：ボランティア（アウトリーチ）の意義を再確認する。	30	主体性 課題発見力 規律性
2～ 15	ボランティア（アウトリーチ）活動に従事する。	実習	自身が従事するボランティア（アウトリーチ）プログラムの目的・目標を理解し、その達成に向けて活動することができる。	予習：参加するボランティア（アウトリーチ）プログラムを決定し、活動計画書を作成・提出する。 復習：活動内容を振り返り、活動報告書を作成・提出する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力